博物館　明治村　半田東湯　他

Museum Meijimura Handa Azumayu, etc.
（愛知県犬山市）

今回紹介するのは「博物館　明治村」にある二つの風呂である。もちろん、展示物なので入浴はできない。

最初に紹介するのは銭湯だ。屋号は半田東湯。村内の四丁目にある小さな木造の建物だ。半田東湯は愛知県半田市亀崎町にあった。明治末頃に開業し、1971 年に解体されたと記録がある。明治村に移築されたのはその 9 年後になる。9 年間も資材が移築を待ってどこかに保管されていたのだ。あるいは 9 年間も移築方法を検討し、移築工事に時間をかけたということか。

建物は建築面積が 15 坪の規模で 2 階建。入口は男女に分かれており、中に入ると番台がある。番台は恐ろしく狭い。よくこんな狭い場所に長時間も座っていられたなあという狭さである。脱衣室、浴室も、東京に現存する銭湯の半分以下の規模だ。内装は無垢の材木。浴室内にカランはあるが、湯が出たのであろうか。浴槽は二つあり、小さい方が上がり湯、大きい方が定員 2～3 人程度だ。浴槽の特徴は男女がつながっていること。水中にもぐれば、反対側に移動がでる。思わず、問題が起こらなかったのであろうかと想像してしまう。2 階は休憩室である。

次に紹介するのは芝川又右衛門邸の風呂だ。芝川又右衛門邸は、村内の三丁目にあり、比較的最近にな

って移築された建物である。神戸の大震災の時まで現役で使われていたのである。芝川又右衛門邸とは、明治時代に財をなした商人の別荘である。彼は西宮に果樹園を持ち、週末に大阪から人力車でこの別荘に通った。別荘の１階にはダンスホールがあり、宝塚のスター達を招いてダンスを楽しんだという。

生活の場は主に２階である。このため、キッチン、風呂も２階にある。脱衣室はかなり広く２畳くらいの規模。風呂はタイル張りで、浴槽は木製だ。浴槽の水抜きはなぜか長い木の棒になっている。天井を見ると、おしゃれな装飾が施された湯気抜きがある。恐らくは自然換気であろうが、天井裏でダクトがつながっているのであろうか。

実は明治村には中学の頃だったか遠足で訪れている。もう 40 年以上前の話だ。当時は、古い建物には何の関心もなく、記憶にはほとんど何も残っていない。しかし、今は違う。明治村には明治時代の人間の息吹が感じられる。そういった人たちがいなければ、今の我々は存在しないのだ。

明治時代には多くの偉人もいた。特に明治初期の頃は、新政府側と旧幕府側で大きな争いがあった。どちらに正当性があるかという議論をするつもりはない。今言えるのは、すべての人たちが生きるために必死で戦ったということである。

政治も経済も時代が急速に動いた明治時代。その息吹を感じたければ、明治村は格好の場所である。

DATA

名称	博物館　明治村　半田東湯、芝川又右衛門邸
所在地	愛知県犬山市内山１番地
電話	0568-67-0314
営業時間	9：30～17：00（季節によって変動するので要確認）
定休日	不定休、要確認
入村料	大人 2,000 円、65 歳以上と大学生 1,600 円、高校生 1,200 円、中学生 700 円 小学生 700 円
入村料＋乗り物	大人 3,300 円、65 歳以上と大学生 2,900 円、高校生 2,500 円、中学生 2,000 円 小学生 1,500 円
サウナ	半田東湯、芝川又右衛門邸ともになし
サウナ内のテレビ	半田東湯、芝川又右衛門邸ともになし

取材日	2023 年 5 月 1 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし